

한통련 뉴스레터

제66호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●関東大震災100年朝鮮人虐殺…尹政権・与党・保守メディアが一斉に追悼行事参加者・団体に理念攻撃



関東虐殺100周年追悼事業推進委員会とともに記者会見する尹美香議員 (写真中央)

政権・与党など、追悼式典に参加した尹美香議員に理念攻撃

関東大震災から100年が経過した9月1日、東京都立横網町公園内にある朝鮮人犠牲者追悼碑前で、「東京同胞追悼会」(主催＝朝鮮総聯東京都本部、東京朝鮮人強制連行真相調査団)が執り行われた。「関東大震災100年朝鮮人虐殺」関連行事の報告記事は別掲)

この追悼式典に旧日本軍「慰安婦」被害者支援団体の前理事長で国会議員(無所属)の尹美香(ユン・ミヒャン)氏が出席したが、そのことについて、4日に開かれた国会予算決算特別委員会で、朴振(パク・ジン)外交部長官は「北の核とミサイルの脅威が高まっている中、現職国会議員が朝鮮総聯の行事に参加するのは適切ではないと思う」と述べ、金映浩(キム・ヨンホ)統一部長官は北朝鮮(※正しくは朝

鮮、以下同じ)側との接触を事前に申告するよう義務づけた南北交流協力法に関連して「現行法違反だ」と指摘。与党「国民の力」の首席報道官は3日、「韓国国会議員の資格がない」として、議員資格を失わせる「除名」とするよう求める論評を出し、4日、国会倫理特別委員会に尹美香氏の懲戒案を提出した。民団も4日、尹美香氏に議員を辞職するよう求める談話を出した。

一方、尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領は4日の首席秘書官会議で、「自由民主主義を揺るがし、破壊しようとする反国家行為に対し、政治陣営に関係なくすべての国民と共に断固として対応しなければならない」と述べ、具体的に名前を示さないものの尹美香氏を批判し厳しい処置を示唆した。

警察は8日、市民団体などからの告発を受け尹美香氏を国家保安法違反容疑などで捜査に着手、その後、追悼式典の他の参加者も捜査対象として広げている。

尹美香議員、理念攻撃に反撃

尹美香氏は5日、総連主催の追悼式典に出席したことに関連して、「(政治的)色分け」「理念攻撃」と改めて反論した。

尹氏はこの日発表した声明で、「韓国の保守系メディアと与党『国民の力』だけが理念攻撃で虐殺犠牲者の方々を再び傷つけている」と主張。今回の追悼事業は実行委

員会が準備したもので、朝鮮総聯もその中に含まれているとして「日本社会のどこに行っても朝鮮総聯はある」とした。式典出席が南北交流協力法に違反するとの指摘に対しては「日本で総聯関係者に会う意図や計画がなく、情報やメッセージをやりとりするような接触をする理由もなかった。従って接触申告の対象ではない」と説明。式典では献花をただけで、総聯関係者との接触はなかったとした。

与党が自身の懲戒案を提出したことに対しては、「韓日問題は屈辱外交で一貫し、独立運動家をこき下ろそうと理念攻勢に火をつけ、民族の大きな悲劇である関東（大震災での朝鮮人）虐殺を総選挙前に理念ビジネスとして利用する国民の力を倫理委に提訴したい心情だ」と批判した。

尹美香氏は8日、追悼式典に出席したことに関連して、事実と異なる主張をしたなどとして、国民の力所属の国会議員3人を名誉毀損（きそん）などで告訴したと明らかにした。

保守メディア、韓忠穆・進歩連帯共同代表に理念攻撃

政権・与党と歩調を合わせて保守メディアも「反日を口実にした親北行為」「この際、尹美香議員の周辺の反国家勢力をえぐり出せ」などと主張する中で、東亜日報が、追悼式典に尹美香氏と共に参加した韓国進歩連帯の韓忠穆（ハン・チュンモク）共同代表を、過去に北朝鮮の指令を受け活動、国家保安法違反容疑で有罪判決を受けた人物だと報道した。

韓氏は8日、「北の指令～」容疑は裁判で無罪が確定しているとした上で、これは「追悼式典への参加がまるで国家保安法違反かのように書いた極めて悪意に満ちた報道行為」と指摘し、記者に対し法的措置を取る計画だと明らかにした。

韓国・推進委員会、尹政権を糾弾

日本に代表団を派遣した「関東大震災虐殺100周年追悼事業推進委員会（推進委）」は6日、ソウル市内で記者会見を開

き「関東大震災における虐殺被害の真相を究明するために総力を尽くすべき政府が『理念攻勢』をかけている」とし、「北朝鮮追従勢力というレッテルまで貼り、非難攻勢を強めているこの状況はまるで100年前の（関東大震災における虐殺の）狂風が再現されているかのようだ」と糾弾した。

尹政権は理念攻撃・公安弾圧をすぐさま中止しろ！

日本で朝鮮総聯主催の追悼式典に参加したとして、尹美香議員に政権・与党・保守メディアを含む保守勢力から、すさまじい理念攻撃がかけられている。ついに警察は国家保安法違反容疑で捜査に着手したという。

しかし、現在までに確認されたことは、尹美香氏が主張するように、韓国からの訪問団のメンバーと共に犠牲者を追悼するために横網町公園で開かれた追悼式典に参加したというのがすべてだ。尹美香氏がそこで総聯人士と会ったとか対話したとかは確認されていない。南北交流協力法や国家保安法の違反を云々し適用する状況でないのは明らかだ。

また、総聯は韓国と違い日本では合法団体であり、韓日間の様々な交流の過程の中で総聯と接触する機会が生じるのは当然のことである。むしろ、こうした交流を問題視し南北交流を妨げる国家保安法そのものが時代遅れの悪法であり、国家保安法を「伝家の宝刀」とばかりに振り回し、進歩民衆勢力を「反国家勢力」として理念攻撃と公安弾圧を加える尹政権こそが糾弾されなければならない。

日本への屈辱外交を続ける尹政権は、関東大震災時の朝鮮人虐殺に関しても日本政府に正式謝罪を要求するどころか、日本での追悼行事に韓国から参加し真相究明・正式謝罪・賠償を求めた民主人士を誹謗中傷するという反民族的行為をためらわない。尹政権は理念攻撃・公安弾圧をすぐさま中止しろ！

●【記事紹介】進歩党政策党大会、成功りに開催…「2党体制をこえ政治交代の主役になる」



舞台上に集合した進歩党の2024年総選挙候補者たち

進歩党は9月9日、光州市内で、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権に対抗し2024年総選挙勝利を決意する1万人党員の熱気あふれる政策党大会を成功りに開催した。民プラスの記事（9月11日）を抜粋・要約して紹介する。

全国に吹く風…突風となった進歩党政治

ユン・ヒスク常任代表は開幕式で「時代は尹政権と全面的に闘うことのできる政治勢力の登場を要求している」「カン・ソンヒ議員を当選させた尹政権への怒りの民意と進歩党の献身的で奉仕する政治が突風となり全国に広がっている」と述べ、「政治交代の開始」を宣言した。

ヤン・ギョンス民主労総委員長は祝辞で「激しい不平等と二極化により労働者民衆の苦痛が増しているが、既得権化している二大政党（「共に民主党」と「国民の力」）政治は泥仕合が実情」「政策党大会を契機に進歩党が来年の総選挙で政治交代の主役として、民衆の代案として登場するよう願う」と述べた。

続いて正義党、労働党、緑色党、基本所得党とドイツの左派党、日本の新社会党の連帯辞が映像で紹介された。

「資産・所得の不平等解消」から「非同盟」まで…総選挙の議題を討論

開幕式後、政治戦略討論会が開催された。

チョン・テフン共同代表は「総選挙は後ろへと退行するのか、前へと前進するのか

を決める重大な分水嶺」「憲政じゅうりんと法治破壊をこととする尹政権を確実に審判し、進歩政治の勝利で二党体制を打破し、政治交代の確固とした橋頭保を構築しなければならない」と強調した。

討論会では総選挙の議題として△資産の不平等を打破、所得の不平等を解消、機会平等の実現△環境重視の社会への転換△首都圏過密化の解消と均衡発展、都市・農村の共生と地域循環経済の構築△平和軍縮△「価値同盟」ではなく「非同盟」と国益優先の実利外交をあげ、政策について討論立案した。

党員が総選挙の代表的公約に直接投票…「検事長直選制」が「政策ナンバーワン」

続くプログラム「政策ナンバーワン」では党員が総選挙の代表的公約を直接投票した。

一位を獲得したのはノ・ジョンヒョン釜山蓮堤区候補が提案した「検察庁解体・検事長直接選挙制度」。尹政権の無分別な検察動員に対する憂慮が反映したもの。ノ候補は「これを導入すれば政権の意向に沿った検事の暴走を阻止できる」と説明した。

これにより「検事長直選制」は以後、進歩党の他の公約と共に重要な議題として登場する予定。

「政治フェスティバル」では労働者、農民、貧民単位の公演と2024年総選挙候補者の出発式が開かれた。

光州へ、ソウルへ…進歩党の休むことのない旅程

政策党大会2日目の10日には、党員は光州とソウルに分かれて日程を消化した。光州では光州国立5・18墓地を参拝し政策党大会の宣言文を発表した。

宣言文では△「民生政党・大衆政党」へ、授権政党へと跳躍△第2の労働者政治勢力化と進歩政治の連帯連合を実現△青年と女性の政治勢力化を実現△進歩的政権モデルを地域から創造などを決意した。

ソウルに向かった党員は、江西区長再補欠選挙に出馬予定のクォン・ヘイン候補と共に、地域住民に広報活動と奉仕活動を展開した。

党員の献身と熱意で進歩党は跳躍している。2024年総選挙で先の地方選挙にお

ける突風を再現できるか、進歩党に期待する民意も高まっている。

記事原文

<http://www.minplusnews.com/news/articleView.html?idxno=14092>

활동보고 活動報告

● 関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年追悼行事を開催…各地で真相究明を求める声が高まる

関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会など(関東)



紫金草合唱団と追悼歌を歌う李政美さん(中央)

関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年を迎え、都内で様々な追悼行事が開催された。

「関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会実行委員会(追悼大会実行委員会)」は8月31日、文京シビックホールで「関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会」を開催。1800人が参加した。

大会では犠牲者遺族や支援団体をはじめ関連団体・個人がアピール。韓国からは「関東虐殺100周年忌追悼事業推進委員会」の李娜栄(イ・ナヨン)共同代表が連帯あいさつ。日本政府に対して「虐殺の責任を自警団に転嫁し、調査も謝罪もしないとしている。どれほど反人道的で恥知らずか」と批判。「真の和解と平和は帝国主義と軍国主義、植民主義の克服と歴史正義の回復が前提となる時、初めて可能とな

る」とし、真相究明および謝罪、軍事大国化政策の是正を要求した。

在日歌手の李政美(イ・ジョンミ)さんが紫金草合唱団とともに追悼歌として「ほうせんか」「ネエサンの愛」などを合唱した。

実行委員会が宣言文を朗読。「虐殺の事実の隠蔽と、他民族に対する公的な差別の継続は表裏一体だ。いま再び隣国への敵がい心をあおり『敵』基地攻撃を正当化する政府の戦争動員に立ち向かおう」とアピールし、全体の拍手で採択された。

9月1日午前には都内の横網町公園で「関東大震災100周年朝鮮人犠牲者追悼式典」が開催された。主催は同実行委員会。追悼式典では追悼碑を前に読経、黙祷が行われ、各界から追悼あいさつがよせられた。午後には総連東京都本部と東京朝鮮人強制連行真相調査団が「関東大震災朝鮮人虐殺100年東京同胞追悼会」を開催。韓国から関東虐殺100周年忌追悼事業推進委員会が連帯あいさつ。「日本政府は100年間の欺瞞(ぎまん)をやめ、歴史正義を確立し、アジアの共同繁栄のためにも進んでいこう」と語った。式典後、総連東京都本部の高徳羽(コ・ドグ)委員長が記者会見。「東京都の小池百合子記事に追悼文送付を求めたが、拒否された」と語り都の姿勢を批判した。

9月2日には追悼大会実行委員会が国会議事堂前でキャンドル集会を開催。1700人が参加した。集会では朝鮮人・中国人遺族をはじめ各市民団体、政党がアピールし、実行委員会が日本政府への抗議文を朗読。△虐殺の真相と原因を明らかにせよ△

虐殺犠牲者の名簿を公表せよ△国家としての責任を認め、犠牲者に謝罪・賠償せよ△事実を即した歴史教育をせよ△一切の民族差別的政策を撤廃せよ、と日本政府に要求した。

9月3日には在日大韓基督教会川崎教会で国際交流シンポジウムが開催された。

「関東大震災朝鮮人虐殺100年一虐殺犠牲者の追悼と責任追及の行動」実行委員会は1日、銀座ブロッサム中央会館で「朝鮮人虐殺犠牲者追悼集会」を開催。関東虐殺100周年忌追悼事業推進委員会の李鴻政（イ・ホンジョン）共同代表（6.15南側委員会代表常任議長）が発言した。2日には連合会館で「朝鮮人虐殺犠牲者の追悼と責任追及の行動 国際シンポジウム」を開催した。

「朝鮮人虐殺の真実から、日本の歴史修正主義を問う9・1集会」(愛知)



講演する劉永昇編集長

関東大震災から100年にあたる9月1日、韓統連愛知本部、「日朝教育・文化交流をすすめる愛知の会」、「韓国併合」100年東海行動実行委員会が名古屋市内で「朝鮮人虐殺の真実から、日本の歴史修正主義を問う9・1集会」を開催した。

韓統連愛知本部の趙基峰（チョ・キボン）代表委員が実行委員会を代表しあいさつ。「関東大震災時の朝鮮人虐殺を知ったのは22歳の時。友人の家にあった雑誌『世界』を読み、その惨状に恐怖と怒りを感じた。現在もウトロ放火事件など起こっており、差別に鈍感な日本社会で再び関東

大震災での朝鮮人虐殺が起きないか憂慮している。今日の集会が歴史を直視する機会になることを期待する」と述べた。

来賓あいさつと詩の朗読のあと、今年「関東大震災朝鮮人虐殺を読む」を上梓した名古屋の「風媒社」の劉永昇編集長が講演。「不逞鮮人」のイメージはいつ作られ、それがなぜ関東大震災での朝鮮人虐殺までに至ったのか自身の問題意識にもとづき講演した。

劉氏は「1919年の『3・1独立運動』で湧き上がる朝鮮民衆の蜂起に恐怖を感じた総督府・日本政府は、独立運動を行う朝鮮人を『不逞鮮人』とし、朝鮮人との戦いを「テロとの戦い」として弾圧・虐殺を正当化してきた。関東大震災時には混乱のさなか朝鮮人が襲ってくるのではないかという恐怖の中で虐殺が行われ、更に官と軍が流言飛語を流し自警団による虐殺となった」と解説。「正当化された虐殺行為はその後も隠蔽（いんぺい）と流言のみが拡散され、日本人の罪責感の『正当防衛』として長く記憶され現在に至っている。今も朝鮮人へのネットなどでの流言飛語は止まず、アジア人への差別感情の拡大に繋がっている」と語った。

愛知では関連行事として映画「隠された爪跡」上映会（7月9日）、金鐘銖（キム・ジョンズ）さん講演会（8月12日）、追悼式典（9月1日）、第49回橘宗一少年墓前祭（9月16日）が開催された。

映画「隠された爪跡」上映会(三重)

「関東大震災100年・朝鮮人虐殺を忘れるな／『隠された爪跡』上映会」が9月3日、四日市市総合会館で開催された。主催は韓統連三重本部、韓青三重県本部を中心とした「隠された爪跡」上映実行委員会。

開会前に会場全体で虐殺・被災による犠牲者に黙祷。金相祚（キム・サンジョ）実行委員長（韓統連三重本部代表委員）が主催者を代表しあいさつ。「三重の地でも関東大震災の3年後に熊野で朝鮮人虐殺事件『木本事件』が起こった。朝鮮人虐殺から



講演する金昌五副代表委員

100年経った今、その事実を無くそうとする動きがある。この上映会・講演会を通し、『今わたしたちにできること』を考える契機にしてほしい」と語った。

映画上映後、韓統連大阪本部の金昌五（キム・チャンオ）副代表委員が「血で書かれた歴史を墨で消すことはできない『韓日関係の現状と私たちの課題』」と題し、講演。△韓日関係はなぜ史上最悪の状態になったのか△尹錫悦政権による対日（対米）屈辱外交△わたしたちの課題の3つのテーマに沿って展開。日本の歴史修正主義との闘い、日本軍国主義復活に対する闘い、韓米軍事演習・韓米日軍事同盟に反対する闘いを韓国と日本の民衆の連帯運動によって展開していくことの重要性を訴えた。

上映会には地域同胞、連帯関係を中心に約100名が参加した。

関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年追悼行事 参加記

李鐵（イ・チョル） 顧問



関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年追悼行事に参加しました。

1923年9月1日、日本の関東地方を襲った大震災で10万人以上が亡くなり、さらに「朝鮮人が井戸に毒を投げ入れた」などの流言飛語を意図的に流布して戒厳令を發布し朝鮮人への恐怖心を煽り軍や警察、在郷軍人を中心とした一般市民らが自警団を組織し6000人以上の朝鮮人を虐殺した事件から100年目になります。

8月31日、東京・文京シビック大ホールで「関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会」（主催：関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会実行委員会）に参加しました。

宿舎から会場最寄駅の春日駅まで15分余り。駅からホールまで徒歩3分ほどでしたが、制服警官が立っている姿を所どころで見かけました、午後5時開場の予定でしたが、開始を待つたくさんの参加者で受付付近は熱気ムンムンの雰囲気、会話の音が天井に響くほどで関心の高さを改めて感じました。

事前に申し込んでいたので、参加者名簿を確認し参加費を納め会場内に入ろうとしましたが、多くの知り合いと出会いあいさつを繰り返すだけで30分もかかってしまいました、やっと席に着いたら、韓統連関東のメンバーから声がかかり、皆が集まって座っていた席へと移動し、そこでもそれぞれにあいさつを交わすうちに開始時刻が迫ってきました。会場は二階席も含めて埋め尽くされたように見えたが、中国、韓国、米国（一部カナダ）からもゲストが参加していました、韓国からのゲストはもちろん知り合いが多くいましたが、米国からのゲストに以前サンフランシスコで「慰安婦」問題にかかわってお会いした一行ともお会いできて話げができました。韓国からのゲストの一部とサンフランシスコからの一行は、9月6日に開

催された大阪水曜集会にも参加してくださいました。主催者側から1800人余りが参加したと聞きました。

副題に「歴史に誠実に向き合い、国家の責任を問い、再発を許さない共生社会への第一歩を！」と書かれており、日本政府と東京都の誠実な対応を訴えているように感じました。

中国からのゲスト10名余りが最初に舞台に上がり、挨拶と歌で会場から熱い拍手が送られていました、研究者の報告に続き政党（立憲民主党1人、社民党2人、共産党2人、れいわ新選組1人）からあいさつがありました。とりわけ立憲民主党の杉尾秀哉参院議員から国会で100年ぶりに質問をしたことが報告され、「謝罪すべきは謝罪して」と政府に迫ったが「事実関係を示す資料が見つからない」と答えたと言っていたのが印象的でした。

大会の賛同団体の一つであるJVC（日本国際ボランティアセンター）ホームページに掲載されていた主催者趣旨文の一部を紹介します。

「そして百年。他民族への嘲りと蔑視、ヘイトクライムは今も後を絶たない。国レベルでの『他民族への公的な差別』が継続していることと、日本政府が関東大震災での大虐殺事件を一世紀にわたり隠蔽（いんぺい）し続けていることは表裏一体なのだ。（中略）今こそ、多民族・多文化が共生できる社会へ踏み出すため日本社会の隅々から立ち上がろう。いま再び隣国への敵愾心を煽り『敵』基地攻撃を正当化する政府の戦争動員に立ち向かうためにも！」

JVCホームページ

https://www.ngo-jvc.net/support/event/20230901_shinsai.html

● 第8回尹錫悦政権糾弾集会を開催…尹政権退陣を要求



アピールする韓成祐委員長

「東京民主実践連帯（東民連）」は9月9日、都内の新宿駅西口地下広場で「第8回尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権糾弾集会」を開催。韓統連・韓青や在日同胞、ニューカマーの韓国人や日本人が有志で参加した。

韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長は「尹錫悦大統領は野党や市民社会団体を一方的に攻撃している。国民のための大統領とはとても言えない」と批判。

「一日でも早く退陣させるために、ともに闘っていこう」と語った。

インターネットメディア「日本のメディアが伝えない週刊韓国ニュース」の西田尚史氏が発言。汚染水海洋放出（海洋投棄）に対する日本のマスメディアの偏向報道のあり方に怒りの声を上げた。演説の合間には韓国の民衆歌謡、闘争歌が歌われ、市民の注目を集めた。

韓統連の李俊一（イ・チュニル）総務部長が閉会あいさつ。「この間韓米合同軍事演習、原発汚染水海洋放出（海洋投棄）が強行され、関東大震災100年の節目にあたっても、日本政府や東京都から謝罪の言葉一つなかった。日本政府のこのような問題に対して、韓国の尹錫悦政権は抗議するどころか黙認し、むしろ助長している」と批判。「尹政権は現在、反対勢力を理念対決の中で不当に弾圧している。このような親日売国政権のもとでは、私たちの未来はない。韓国の民衆とともに、今後も退陣運動を続けていこう」と語った。

● 尾澤孝司氏裁判、第一審判決…不当判決に怒りの声



不当判決に抗議する尾澤氏（中央）

9月11日、さいたま地裁で尾澤孝司氏に対する裁判の第1審判決がくだされた。この裁判は、韓国サンケン労組の不当解雇の撤回を求めてサンケン本社に対して申し入れを行った尾澤氏に対して、サンケン電気が「暴行」「威力業務妨害」などの罪をでっちあげ、不当逮捕・勾留させたもの。

判決は尾澤氏に対して罰金40万円を課すという不当判決で、判決を知ると支援者から怒りの声があがった。

さいたま社民会館で報告集会を開催。担当弁護士が判決について解説。荒木弁護士

は「罰金を40万円としたうえで、未決勾留日数を一日5千円とし、尾澤さんが80日以上勾留されたため罰金と相殺する、という形をとった。有罪だが罰金は払わなくて良い、という中途半端な判決。今回の裁判はそもそも懲役どころか、本来なら事件にすらならないものであり、不当判決だ」と批判。今後も争っていく姿勢を示した。

韓国から民主労総のキム・ウニョン副委員長（韓国サンケン労組副支会長）が連帯あいさつ。「私たちサンケン労組は、尾澤さんはじめ日本の方々の連帯があつて勝利することができた。尾澤さんが無罪になるまで、韓国サンケン労組の闘争は終わらない」と強調。韓国ワイパー労組、韓国オペティカルハイテク労組からも発言があり、引き続き連帯して闘う決意が語られた。

尾澤氏が決意表明。「サンケン闘争のなかで韓国の労働者から大きな恩を受け、裁判闘争を闘う力となっていた。判決は不当であり、二年間の日韓の労働者の闘いを顧みない裁判所の姿勢に怒りを感じる。検察の主張をうのみにした判決を許さず、今後も闘っていく」と語った。

● 李元栄元教授が汚染水海洋投棄に抗議し日本全国を行進…反対の声を高める



新橋駅前で行進活動する行進団

原発処理水の海洋放出（海洋投棄）に反対し、韓国・水原大元教授の李元栄（イ・ウォニョン）氏が、6月18日にソウルを出発して釜山（プサン）まで約500キロ徒步行進した後に船で山口県下関に渡り、東京の国会議事堂までの約1100キロを徒步行進した。

李元栄氏の呼びかけに応え、汚染水放出に反対する日本各地の脱原発や平和運動の市民グループがネットワークをつくり、李氏をサポートし徒步行進に同行した。8月

11日の徒步行進（兵庫・尼崎市～大阪市～吹田市）に韓統連兵庫本部の崔孝行（チェ・ヒョヘン）代表委員が参加し、気温37度の猛暑の中行進を貫徹した。

8月22日、名古屋市内での行進後の集会には愛知本部の趙基峰（チョ・キボン）代表委員が参加。汚染水投棄に対して「韓国や中国では不安から反対の声が大きいのに、放出に踏み切ったことにアジア軽視を感じる」と批判した。

行進団は9月11日、東京に到着し新橋駅前で行進活動を開催。東京電力、経産省を経て、国会議事堂まで抗議行進を行った。東京電力と国会議長に対して海洋投棄中止を求める要望書を提出した。李氏は汚染水海洋放流について「いくら希釈しても放射能の絶対量はそのままだ。日本政府は多くの生命を故意に破壊するのを止めねばならない。これは地球全体に関わる問題だ」と語り海洋投棄中止を強く訴えた。行進には韓統連、韓青、東京民主実践連帯のメンバーが参加した。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の動画は韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIgrXfqIQ

행사예정 行事予定

9月

日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会(大阪)

日時: 9月15日(金) 午後6時開場、6時30分開始 場所: 国労大阪会館 内容: 講演「朝鮮半島情勢と日朝関係の展望について(李柄輝(リ・ビョンフィ)朝鮮大学校 朝鮮問題研究センター副センター長)」 参加費: 1000円(資料代として) 主催: 日朝国交正常化の早期実現を求める市民連帯・大阪 連絡先: 090-3272-1542

第28回統一マダン生野(大阪)

日時: 9月17日(日) 正午 場所: 生野区・いくのパーク 内容: ステージ(6・15市民合唱団、ちゃんへん. さんによるジャグリング、安聖民(アン・ソンミン)さんによるパンソリ、きむ・きがんさんによる歌など)、屋台、各団体のアピール 主催: 第28回統一マダン生野実行委員会 連絡先: 06-6711-6377(チェ)

10月

情勢学習会(神奈川)

日時: 10月15日(日) 午後1時開場、1時15分開始 場所: ミューザ川崎 内容: 情勢講演(講師—李俊一(イ・チュニル)総務部長) 参加費: 500円 主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261(ムン)

11月

第14回ハナ・マダンあまがさき(兵庫)

日時: 11月5日(日) 午前11時~午後4時 場所: 尼崎中央公園 内容: ステージ(統一漫才カレコレ、子ども三味線、尼崎朝鮮初中級学校)、ONE Koreaクイズ、統一ピピンバ試食、屋台、各団体のアピール 主催: ハナ・マダンあまがさき実行委員会 連絡先: 090-1242-3981(イ)

韓統連広島セミナー2023(広島)

日時: 11月26日(日) 15時15分開場、15時30分開始 場所: 広島市まちづくり市民交流プラザ 内容: 「尹錫悦政権と朝鮮半島情勢」(講師—金昌五(キム・チャンオ)韓統連大阪本部副代表委員) 参加費: 1000円 主催: 韓統連広島本部 連絡先: 090-3372-0993(ユン)